

公表

事業所における自己評価結果（保育所等訪問支援）

事業所名		こども支援ルーム宮の沢		公表日 令和7年3月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。		○	バランスクッション、セラバンド、ベルクロの凸、Qシリーズ（リング、ホルダー、コンパス、定規、マット）、ざらざら下敷き、合理的配慮ノートなど。	訪問用及び貸し出し用に関しては、テブラ等でわかりやすいように明記していきます。今後は、教具教材の訪問セットを作成していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	訪問支援の件数が増えており、スタッフの増員が必要	今後は、訪問支援員を増員して対応いたします。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○	毎月の会議にてPDCAサイクルにて、業務改善の検証を実施しております。	毎日のフィードバックに訪問支援の様子も実施いたします。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者同席の利用時や面談時及び今回のアンケート結果を基に、常に改善に務めております。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個別の面談を年1回以上実施し個別に確認しております。また、今回のアンケート結果を基に、常に改善に務めております。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は実施しておりませんが、研究に協力したり、第三者評価の研修会に参加して、評価項目などを確認して取り組んでおります。	今後は、第三者評価の実施について検討していきます
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		常に研修の機会を提供しております。必要な研修については、職員に順番に参加していただいております。	「はぐくも」という動画研修システムを利用して、隙間時間にも自己学習できるようにしております。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		フェイスシート、継続用フェイスシート、感覚プロファイルなど標準化されたアセスメントを使っております。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画書作成においては、計画書の原案を作成後、カンファレンスにて職員間の共通理解の下に子どもの最善の利益を考えております。	計画書の内容に関してもカンファレンス等でさらに深めて行ければと思います
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		保護者様の意向を中心に実施しており、訪問後に訪問先施設や担任等の意向を確認して実施しております。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		カンファレンスにて計画が決定後に、その後モニタリングを含めて計画に沿って支援されているか毎日のフィードバックも含めて確認しながら実施しております。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察はもちろんのこと、お子さんの状態によりさらに必要な検査については標準化されたアセスメントツールにて実施しております。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援計画の公開も含めてお子さんの状態に応じて具体的に実施しております。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		担当者が立案し、その後カンファレンスにてチームで内容を共有して、計画に沿って実施しております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		就業開始時にスタッフの動向表を作成し役割分担について確認しております。	現在は、一人で訪問しており、今後は訪問支援員が増えることで、朝ミーティングにて、別に打ち合わせを実施していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎回終了後に反省会を実施し情報を共有しております。	今後は、終了時ミーティングにて、一緒にフィードバックを実施していきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先より訪問支援の方法についてお願いされた手法を尊重して取り組んでおります。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		SOAPに基づいて記録し、支援の改善につなげております。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なカンファレンスにより見直しを実施しております。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		できるだけ担当者と管理者が一緒に参加できるように配慮しております。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保健センターや医療機関、その他すべての機関と必要に応じて連携を取れる体制を常に整えております。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様及び移行先の事業所からの要望により、保護者様の確認を取ってから情報提供しております。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	○	「さんりんさしゃ」と常に関連しており、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受けております。	当法人の作業療法士世良が内部研修を実施しており、OJTも実施しておりますが、まだ不十分な点もありますので、外部の研修にも積極的に参加を進めていきます。学校作業療法の外部研修に随時参加していきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○	○	自立支援協議会子ども部会の研修会には積極的に参加するようにしております。	今後は、西区の自立支援協議会子ども部会へのスタッフとしての参加も検討いたします。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳としてHUGを使って利用時の様子をお伝えし、必要に応じて面談を実施して共通理解を図っております。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		当事業所では、家庭での困り感が強いお子さんなどの保護者様に個別にペアレントトレーニングを実施しております。また、年3回の座談会にて、研修や情報提供等の機会を設けております。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		体験及び利用の契約時に説明しております。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		始めて訪問支援を開始する訪問先などには、訪問支援を開始する前に、訪問方法や目的を説明してから実施しております。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点等を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		フェイスシート、継続用フェイスシート、感覚プロファイルなどを利用開始時、1年ごとに実施しており、また、それ以外でもHUG等で常にこどもや家族の意向を確認しながら進めております。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		HUGにて計画書を説明し確認後に同意を得ております。	書面で実施を希望される方には、書面でお渡ししております。また、質問には丁寧にお答えしております。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		家庭でのお子さんの困り感などについて、HUGや電話及び面談にて相談に応じ、必要な助言や解決方法を提示しております。家庭の困り感がすぐに解決できない場合は、ペアレントトレーニング等をお願いしております。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者様との座談会を年3回実施しております。	Zoomでの開催が主になっており、今後は対面での開催にて兄弟も含めた交流する機会も作りたいと思います。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		体制は整っており、これまでも迅速かつ適切に対応しております。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HUGにて、職員の異動、行事の際の活動報告、お休みや長期休みの際の送迎場所の確認などを発信しております。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員の誓約書、書類関係の管理、情報提供、保護者の要望に応じて送迎時や送迎車などにも配慮しております。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		常にわかりやすい内容にて視覚支援を交えながら、必要な意思の疎通や情報伝達の配慮をしております。	
訪問先施設	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先からの相談に関しては、訪問時に随時受けたり、訪問後に連絡して応じる等の体制を作っております。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問実施後のカンファレンスに関しては、Zoomで行うことなどありますが、基本的にメールやFAXにて報告させていただき、アドバイスや助言に関する質問なども受けております。	

への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		連絡帳代わりのHUGにて、訪問支援内容をSOAP形式で報告し共有しております。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員の誓約書、書類関係の管理、情報提供、保護者の要望に応じて送迎時や送迎車などにも配慮しております。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		作業療法士等の専門職の訪問支援にて、医学的な視点も含めて助言しております。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		利用契約時の重要事項の説明の際に、マニュアルについても説明し、それぞれ発生を想定した訓練を実施しております。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に準じて、施設周辺の環境の確認、送迎時及び移動時の交通安全、必要な研修や訓練を実施しております。	訪問支援にて、中休みや昼休み、児童会館への介入時などでは、先生やスタッフが少ないことがあり、子ども同士のトラブルが生じやすいこと、学校の廊下は固い素材になっており、ふざけて転倒したり、走ったりして転ぶとけがにつながりやすいため、最善の注意が必要である。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		インシデント・アクシデントの報告をその都度実施して、再発防止に向けた改善策や方策について検討しております。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年4月に虐待防止の研修会を実施し、カメラ等の設置を含め適切に対応しております。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在、身体拘束の児童はおりませんが、今後必要なお子さんについては、カンファレンスにて決定し実施していきます。	